

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2014  
11

NO. 014

[発行日]  
2014.11.1



【写真提供】立川市 【撮影場所】国営昭和記念公園

- ▶ オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト
  - ・福生市「福生七夕まつり提燈LED化事業」…………… 2
  - ・西東京市「身近な環境のことを考える」…………… 3
- ▶ 平成26年度39市町村共同事業助成事業…………… 4
- ▶ 平成25年度調査研究報告書の紹介…………… 5
- ▶ 多摩交流センターだより
  - ・平成27年度広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集 …… 6
  - ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介…………… 7
  - 第3回TOKYOシャンソンフェスティバル  
ウインズパストラレー「第5回定期演奏会」
- ・多摩発・遠隔生涯学習講座…………… 8
- ・東京雑学大学講義案内…………… 8
- ・多摩交流センター開設20周年記念展示…………… 9
- ▶ 編集後記…………… 9
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～立川市…………… 10

Contents

11月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

## みどり東京・温暖化防止プロジェクト

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及、啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。

今回は、福生市及び西東京市の事業について紹介します。



▲提燈  
「福生七夕まつり」

## 福生市「福生七夕まつり ちようちん 提燈LED化事業」



今年も福生市が誇る一大イベント「第64回福生七夕まつり」が8月7日から4日間の予定で開催されました。台風の影響で最終日10日は中止となってしまいましたが、3日間で24万2千人という大勢の方にお越しいただき、大盛況で幕を閉じました。

福生七夕まつりは昭和26年に商店街の振興を目的に始められた催しで、福生駅前や銀座通りを中心に豪華な竹飾りが商店街を彩り、民踊パレードや七夕織姫コンテスト、約100店舗もの市民模擬店など、さまざまなイベントが行われる歴史あるお祭りです。



▲提燈「みどり東京・地球温暖化防止プロジェクト」



▲夜の福生七夕まつり



▲福生七夕まつりの賑わい



▲LED化した提燈

福生市ではそんな歴史あるお祭りで何か環境に配慮した事業が行えないかと検討し、お祭りの象徴でもある提燈の電球をLED化して、二酸化炭素の削減を図ろうということになりました。提燈には「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」、「福生七夕まつり」、実施団体である「福生スクラム・マイナス50%協議会」の文言を入れることで、周知啓発も行いました。

また、提燈のカラーを七夕竹飾の竹及び環境をイメージさせる緑色にすることで、爽やかで涼しい印象を受けると来場者の方にも好評でした。



西東京市マスコットキャラクター  
「いこいな」  
©シンエイ/西東京市

## 西東京市 「身近な環境のことを考える」

西東京市では、環境活動の拠点である「エコプラザ西東京」にて、環境問題に対する理解を深め、意識啓発を図るための環境学習講座を開催しています。講座は、子ども向けに「リサイクル工作」「植物や生き物との関わり体験」を、大人向けには家庭で実践できる「余り布や毛糸の活用」「エコな料理」などの内容で、幅広い世代の方が参加しています。また、毎年5月には市民の環境活動への一層の参加促進と活動分野拡大を図るため、環境フェスティバルを実施しています。

環境学習講座やイベントは、大人から子どもまで楽しく環境について学ぶ機会となっており、家庭や職場での環境にやさしい取り組みを推進しています。

### 環境学習講座「落ち葉と自然の生きものたち」(8月7日)

剪定枝や落ち葉が朽ちて土に還る過程とカブトムシの育成方法を学びます。また、木材のパーツを組み立ててカブトムシを作ったり、講座室にクヌギや落ち葉などを持ち込んで作った雑木林でカブトムシの捕獲体験ができる人気の講座です。

参加した子どもたちは、生き物と自然が織りなす循環の仕組みを学び、自然環境、生物多様性や環境問題を考えていました。



▲カブトムシを作る



▲完成したスノードーム

### 環境学習講座「スノードームをつくろう!」(9月27日)

揺らすとキラキラと雪のように舞って輝くスノードームをリサイクルについて学びながら作りました。

家にある空きびんに好きなおもちゃを固定し、ビーズやストローなど舞うものを入れ、特殊な液体を注いで完成です。

楽しみながら身近なリサイクルに取り組み、空きびんがかわいらしい置物に生まれ変わると喜んでいました。

### 環境フェスティバル(5月25日)

環境にやさしい社会の構築を目指し、市内で生活をする人や事業活動をする人が参加する環境啓発イベントを開催しています。

省エネの展示・紹介、セグウェイの試乗会、ごみ拾い散歩、リユース活動、苗木の寄せ植え体験教室など様々な環境分野の出展がありました。楽しく身近な環境を体験できるイベントとなり、約6,000人の方が来場しました。



▲セグウェイの試乗

西東京市では今後も、幅広い世代の市民や市内で活動する人々が地域の環境に関心を持ち、考える機会を提供していくため、より内容の充実した環境学習講座を実施する予定です。

## 平成26年度 39市町村共同事業助成事業

東京都市長会、東京都町村会及び当調査会では、市町村共同事業を推進しています。今年度実施している「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」と「多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業」から、一つずつ事業を紹介します。

### 多摩・島しょ広域連携活動助成事業

多摩・島しょ地域の市町村の連携活動を支援し、活動の活性化、市町村職員の交流及び人材育成などを通して、多摩・島しょの魅力を高めることを目的としています。複数の多摩・島しょ地域の市町村が連携組織を構成し、子ども体験塾や一般連携活動を実施しています。

#### 青梅市・福生市・羽村市 子ども体験塾実行委員会

## 子どもひこうき展 ～つくってみよう！飛んでみよう！～



飛行機や「空を飛ぶ」ことを身近に感じ、科学やものづくりへの関心を持つ第一歩となることを目的に、青梅市・福生市・羽村市が連携して、8月19日から8月24日まで「子どもひこうき展」を開催しました。

事前に実施したデモフライトでは、ソーラープレーンの組立をしながら仕組みを学び、皆で力を合わせて飛ばす体験や模型飛行機コンテスト等を行いました。

そのほかにも、シミュレーター映像による実機での操縦体験、紙飛行機や部品製作のワークショップ、各種展示等を行い、好評を得ました。



▲ソーラープレーンの組立体験



▲デモフライト

### 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業

多摩・島しょ地域の市町村が実施するスポーツの振興に資する事業へ助成を行い、子どもの体力・運動能力の向上や住民の健康増進及びスポーツ人口の拡大を図ることにより、多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的としています。

「継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業」、「子どもの競技力の向上に資する事業」、「スポーツを通じた地域活性化等に資する事業」の3事業が対象です。



#### 小金井市 チャレンジデー

「チャレンジデー事業」は、笹川スポーツ財団が実施している、全国の100以上の市町村が対戦して勝敗を争うスポーツイベントです。ルールは、対戦相手の自治体と参加率(当日午前0時から午後9時までの時間帯に市内で15分以上継続して運動やスポーツを行った人数が人口に占める割合)で勝敗を決定し、敗者は勝者の自治体旗を庁舎メインポールに1週間、掲揚することです。



▲栗山公園でラジオ体操



▲表敬訪問野球教室

小金井市は、福岡県大牟田市(参加9回目)を対戦相手に初参加しました。5月28日(水)の当日に向けて、短い準備期間で初めて参加した小金井市は参加率25.9%で敗れましたが、30,000人を超す市民等が参加し、初回の数字としては来年に向けて希望を持てる結果となりました。

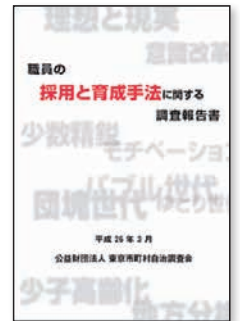
平成27年度は、2回目となりますので、より高い参加率を目指し、スポーツ人口の拡大に取り組んでいきます。

# 平成25年度 調査研究報告書の紹介

「ぐるり39」の本年5月号で概要を紹介した平成25年度の調査報告書のうち、5件の単年度調査報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「職員の採用と育成手法に関する調査報告書」を紹介します。本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) にてダウンロードできます。

近年、市町村では厳しい財政状況の中、効果的・効率的な行政運営が求められる一方で、地方分権や住民ニーズの多様化などにより、職員一人ひとりに求められる能力も専門化・広範囲化しています。

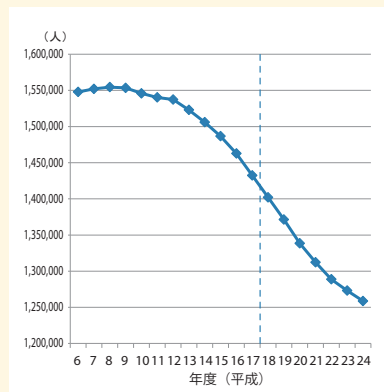
本調査では、“採用・育成する側とされる側”双方の視点から現状と課題を明らかにし、意欲・能力のある『人材』をどのように『人財』まで磨き上げるのか、「採用と育成の手法」について検討しました。



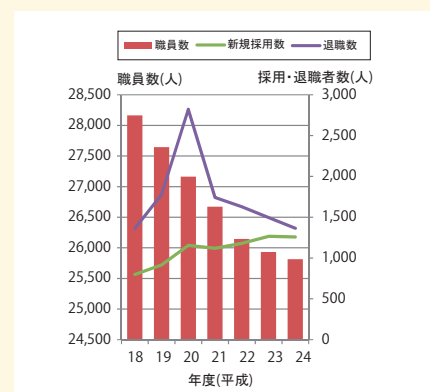
## 1. 多摩・島しょ地域の自治体職員を取り巻く現状

地方分権の推進により、義務付け・枠づけの見直しや事務・権限の移譲が行われるとともに、市町村合併や住民ニーズの多様化などを背景に、市区町村が実施しなければならない業務量が増加しています。

一方で、定数管理や民営化・指定管理者制度導入等の行財政改革の推進により、正規職員数は16年連続で減少しています。



(全国市区町村の職員数の推移)



(多摩・島しょ地域市町村の職員数等推移)

## 2. 多摩・島しょ地域の自治体職員を取り巻く課題

### ●採用における課題

- ・公務員試験対策の普及により、従来の試験内容では優劣が付きづらくなっている
- ・ストレス耐性などの把握が難しく、求める人物像に適合する人材を確保するための手法が確立していない
- ・内定者が辞退してしまうことがある
- ・新規採用職員が仕事内容について、入庁前のイメージとのギャップを感じている

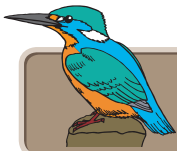
### ●育成における課題

- ・研修の成果が不明瞭であると感じる者が多い
- ・自己啓発の重要性が十分に認識されていない
- ・仕事のやりがいについて、職員により感じ方に差が出ている
- ・メンタルヘルスに不調を抱える職員が増加傾向にある

## 3. 採用と育成における課題解決のための試み

- 採用**
- 解決策① より効果的な情報提供の実施
  - 解決策② 多様な人材を確保するための採用手法の導入
  - 解決策③ 受験者の本質を把握するための採用手法の導入
  - 解決策④ より効果的な採用試験を実施するための手法
  - 解決策⑤ 内定辞退を防ぎ、入庁後すぐになじめる手法

- 育成**
- 解決策① 効果的な新規採用職員研修の実施
  - 解決策② 満足度の高い研修の実施
  - 解決策③ 対象者を限定した育成制度の確立
  - 解決策④ 職員の自主性を活かした育成の実施
  - 解決策⑤ 中長期的な育成プランの構築



## 多摩交流センターだより

公益財団法人東京市町村自治調査会

平成27年度

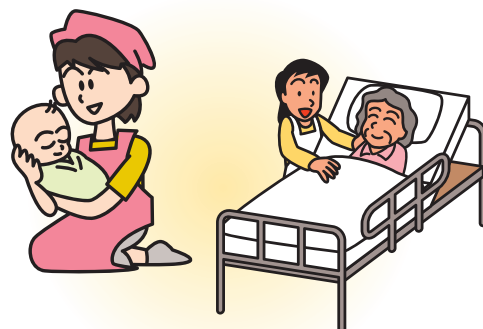
### 広域的市民ネットワーク活動等 事業の助成団体募集!!

～多摩地域の複数の市町村からなる市民団体の広域的な活動を支援します～

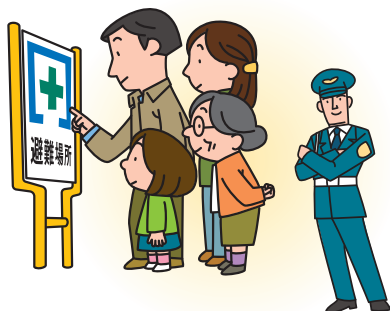
#### 農林業・商店街活性化支援活動



#### 子育て・障がい者・高齢者支援



#### 防犯・防災活動等



#### 西多摩振興活動



#### スポーツ・ 芸術文化活動etc



### 「多摩地域を元気にしたい」 「困っている人の役に立ちたい」

そんな市民活動を広域的に行っているみなさんのイベントや事業を応援します!!

当調査会では、市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大、充実したものとなるために支援をしています。現在、市民活動の分野は多岐にわたっていますが、特に子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

#### 募集期間

平成26年11月10日(月)～12月8日(月)

#### 説明会

平成26年11月14日(金) 19時00分～  
多摩交流センターにて(9ページの案内図をご参照ください。)

※この助成制度は平成27年度予算の成立を条件とし、その予算の範囲での実施になります。※詳細はパンフレットか当調査会のHP(<http://www.tama-100.or.jp/>)をご覧ください。

問合せ先

公益財団法人東京市町村自治調査会事業部企画課  
東京都府中市新町2-7-1 Tel.042-382-7781

# 広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

## 第3回 TOKYOシャンソンフェスティバル

**日時** 12月4日(木) 昼の部12:00～  
夜の部17:00～  
(開場:各回30分前)

**場所** 調布市文化会館たづくり くすのきホール  
京王線調布駅南口 徒歩3分

**内容** 大人の歌として人気の高い「シャンソン」の祭典！  
近隣シャンソン団体との連携や市民参加を推進して進化した第3回目の公演。生バンド伴奏で、1部はシャンソンの名曲を披露する「シャンソングャラリー」。2部は日本を代表する第一線のシャンソン歌手が市民レベルで特別参加する「ショータイム」。3部は従来も好評を博した芝居・ダンス・映像などの演出を駆使した「シャンソンドラマ」と楽しくて元気になる公演です。

**参加費** 2,000円

**【主催】** TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会 (TCF)

**【問合せ】** 事務局(後藤)

TEL 090-9643-6030

FAX 042-591-3654

E-mail: kgtams6030@minuet.plala.or.jp



## ウインズパストラーレ「第5回定期演奏会」

**日時** 12月14日(日) 14:00～16:00

**場所** まるにえホール(東久留米市生涯学習センター)  
西武池袋線東久留米駅西口 徒歩15分

**内容** お陰様で、ウインズパストラーレ定期演奏会も5回目を迎えます。今回も、マーチ、映画音楽、演歌からAKBまで、もちろんクリスマスソングも演奏します。お客様に楽しんでいただけるように現在猛練習中です。ゲストのハッピーハーモニーさんも楽しく歌って踊って、ご来場の皆様と、一足早いクリスマスを楽しみたいと思います。どうぞお誘いあわせの上、足をお運びください。

**参加費** 無 料

**【主催】** ウインズパストラーレ

**【問合せ】** TEL 042-424-4481(西原)

E-mail: w\_pastorale@yahoo.co.jp

HP: <http://windspastrale.cocolog-nifty.com/home/>

twitter: @windspastorale

Facebook: <https://www.facebook.com/windspastorale>



インターネット  
放送による

## 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会

## 11・12月予定の講座案内

## 129回

日時 平成26年11月13日(木) 14:30から約1時間  
 題名 私の「学校支援」活動～中高生のためのキャリア教育  
 講師 尾上 正嗣 氏

(元シーメンス・ヒヤリング・インスツルメンツ(株)  
取締役)

内容 リタイヤ後、ボランティア活動の一環として入会した  
NPOでの学校支援活動の一端を紹介します。この  
NPOの学校支援活動は、「出前授業」と「ものづくり・理科支援」に大別されています。今回は、こうした  
支援活動の実際、子ども達とのふれあいの楽しさ、や  
りがい等々についてお話しします。併せて、新しくで  
きたNPO仲間との繋がりなどもあり、リタイヤ後の  
生活のより一層の充実に役立つこと請け合いです。

## 130回

日時 平成26年12月11日(木) 14:30から約1時間  
 題名 結露発生のメカニズム～快適な室内環境を求めて  
 講師 徳村 颯子 氏

(設備士、建築設備士、学校法人中央工学校講師)

内容 私達は皆、快適な室内環境を求めています。それ  
を害する要因の一つに結露があります。冬、カー  
テンを開けた時、ガラス面や外壁の隅角近辺に結  
露の発生を目にし、不愉快な思いをされたことは  
ありませんか？今回は、この結露発生のメカニズ  
ムを線図やマーカーで易しく学び、対策の立て方  
等も習得し、心地よい住空間作りに役立てましょ  
う。

- 受講料 無料(ただし資料代100円) ○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道  
 ○講座場所 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)  
 ○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中  
継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

## 12月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は12月11日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第967回	12月4日(木) 14:00から	清水紫琴『こわれ指環』を読む ～女性解放文学の先駆け	岩淵 宏子 氏 (日本女子大学名誉教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第968回	12月11日(木) 14:30から	結露発生のメカニズム ～快適な室内環境を求めて	徳村 颯子 氏 (設備士、建築設備士、学校法人中央工学校講師)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第969回	12月18日(木) 14:00から	光源氏に愛された女性たち ～夕顔	藤井 悦子 氏 (源氏物語を楽しむ会主宰・講師)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第970回	12月21日(日) 14:00から	最近の日本をめぐる国際情勢	加藤 朗 氏 (桜美林大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)



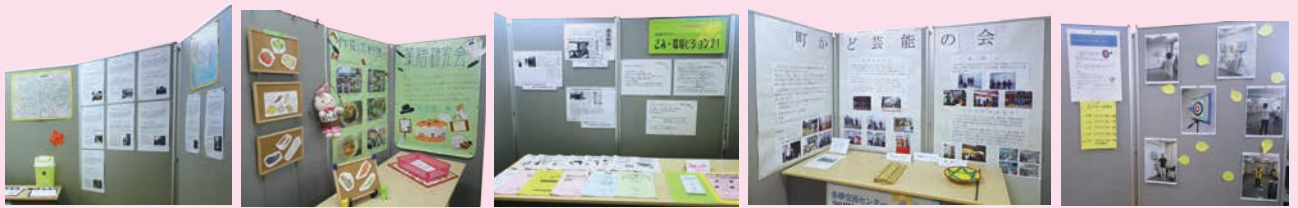


# 多摩交流センター開設20周年記念展示

市民交流室にて当センター登録団体の日頃の活動内容や作品の展示を行っています。



9月と10月は「日本画の写生を楽しむ会」(写真上)「多摩文学散歩の会」「薬膳研究会」「NPO法人 ごみ・環境ビジョン21」「町かど芸能の会」「スポーツ吹矢」「いぶき会」(写真下左より)による作品・活動報告・研究レポートを展示しました。展示の様や今後の展示予定はホームページに掲載しています。各団体の活動に興味がある方はぜひご来場ください。



## 「多摩交流センターだより」の問合せ先

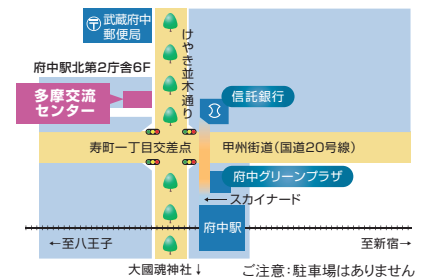
### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (自治調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



## 編集後記

- 早いもので11月を迎え、本年もあと2ヶ月を残すのみとなりました。この季節は、各地で文化祭や、農業祭、産業祭などの祭事が行われ、七五三や紅葉狩りも地域の風物詩となっています。街中では年末年始に向けたイルミネーションや冬支度も始まり、年の瀬の到来を肌で感じる頃でもあります。
- 少し早いですが地方自治の観点から今年を振り返ると、エポックとして、日本創成会議が提起した人口減少社会の問題が改めて大きな課題として認識されてきたことが挙げられます。皆さんも「消滅可能性都市」というセンセーショナルな見出しで新聞各紙が取り上げ、国も地方創生と人口減少の克服に向け「まち・ひと・しごと創生本部」を設置して地方の活性化に取り組む姿勢を示していることをご存じだと思います。
- 先日、この日本創成会議座長の増田寛也氏(元総務大臣・元岩手県知事)の講演を国立市の一橋大学講堂で聞く機会がありました。
- 講演内容を要約すると、
  - 都市は長時間労働・長時間通勤で未婚者も多い上に家も狭く、出産・子育てには厳しい地域
  - 特に東京の出生率は全国の中で特段に低い
  - この東京圏への転入超過が依然として続いており、このままでは日本全国で約25年後の2040年には高齢者すらも減り始め、2050年には全人口は約9700万人、2100年には3800万人～6500万人まで減少する見通しとなる
  - 都市への転入は地域間所得及び雇用(求人倍率)の格差が原因
  - これらをもたらず少子・高齢化社会に対応するためには、若者への支援や出生率を阻害する要因の除去、地方の地域産業の振興、地域を維持するためにコンパクト拠点&ネットワーク構築の実現などが必要
- 少子高齢化・人口減少社会への対応については、いろいろと意見が分かれるところですが、折しも2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、東京を含めた日本社会が大きく変わる方向性が、ここ数年で決まる予感がします。

(M.N.)

# とっておきスポット

## 第2回 立川市

“ココ”  
ご存じ  
ですか?

立川市といえば、表紙の国営昭和記念公園を連想するかもしれませんが、今回は子ども未来センターをご紹介します。



立川市子ども未来センターは、子育て・教育・市民活動・文化芸術活動の支援を行うとともに、イベントにより地域のにぎわいを生み出す複合施設です。その名のとおり、子育て支援が充実していますが、その他の機能も見逃せません。

その一例、2か月に一度開催されるイベント「オトナリ at たちかわ」では、センター前にある芝生で夜の野外コンサートが楽しめます。

アコースティックのやさしいオトを満喫した後は「美味しいまち歩き」イベントに変身。立川駅南口のオトナリ加盟店で様々なサービスが楽しめます。このセンターでは専門スタッフの支援を受けて、市民団体等が数多くのイベントを開催しています。2階には約4万冊のマンガが読み放題の「立川まんがぱーく」もあります。立川にお越しの際は立ち寄ってみませんか。



### 立川まんがぱーく

(子ども未来センター2階)

#### 【開館時間】

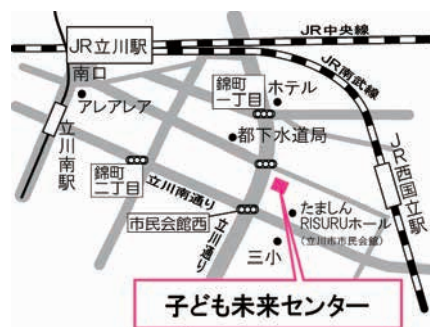
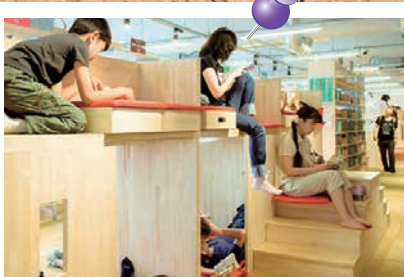
月曜～金曜日：10:00～19:00

土曜・日曜日・祝日：10:00～20:00

#### 【入館料】

大人(15歳以上)：400円 小人(小・中学生)：200円

※未就学児童は無料(大人の同伴が必要)



【現地案内】JR立川駅から徒歩13分、多摩モノレール立川南駅から徒歩12分、JR西国立駅から徒歩7分

【記事・写真提供】立川市総合政策部広報課

【発行日】平成26年11月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】石井恒利

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>

VEGETABLE  
OIL INK